

2013

在宅緩和ケアなんでもフォーラム

～苦しんでいる人と共に歩むすべての人へ～

参加費
無料

平成 25 年



10月6日(日)

10:00～11:30 (開場 9:30)

船橋市中央公民館

(船橋市本町 2-2-5 TEL:047-434-5551)

ロビーにて、専門職による相談コーナーあります

定員

200名 (申込先着順 事前締切 10月1日)
*なお、定員になりましたら締め切らせて頂きます

対象

がんの在宅緩和ケアについて関心のある一般の方
患者さんとその家族、在宅緩和ケアに携わる関係者等

がん等の病気になっても、障害をもっても、住み慣れた場所に最後までずっといたいと誰もが思っています。でも、実際に最後まで自宅で過ごした人は約1割です。フォーラムでは、藤田敦子より、実父の在宅緩和ケア体験やピュアの活動を通じた課題を問いかけ、続いて小澤竹俊氏から、在宅医療の実際や、苦しんでいる人と向き合うために何が必要かを話し頂きます。「家で最期」を叶えるために、みんなで考えていきましょう。



基調講演

「苦しんでいる人と共に歩むすべての人へ」

小澤竹俊 (めぐみ在宅クリニック院長)

世の中で苦しんでいる人の力になりたいと願い、医師になりました。農村医療を志し、救命救急センター、山形県の町立病院等で勤務した後、横浜魁生病院ホスピス病棟で多くの患者さん、家族と向きあってきました。2006年には、在宅療養支援診療所めぐみ在宅クリニックを開業し、訪問診療に従事しています。NHK等メディア紹介多数。著書「苦しみの中でも幸せは見つかる」「いのちはなぜ大切なのか」など。

撮影：七沢英文 (Lattice 編集長)

講演

「がんになっても、家で最期は可能ですか？」

藤田敦子 (NPO法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア代表)

末期がんの家族介護を通じて、「心理的・社会的サポート」不足を痛感する。2001年NPO法人「ピュア」を設立し、在宅ホスピス電話相談や講演会、緩和ケア病棟ボランティア、船橋がんサロン「ここにおいでよ」などを行っている。千葉県がん対策推進部会委員、船橋市地域在宅医療推進連絡協議会委員など。

問合せ・申し込み

NPO法人ピュア フォーラム事務局

メール: kanwaforum@gmail.com FAX: 020-4664-1536

TEL: 070-5554-3734 / 043-290-3029 (火・金午後のみ)

*申込代表者の氏名、電話・FAX 番号、所属、市町村名、同伴者名をご記入の上、メールまたは FAX にてお申込み下さい。(なお、コンビニエンスストア等の FAX 機から「020」へ送信できない場合がございます)
*定員に達し、ご来場頂けない場合のみ、ご連絡を致します。

主催 NPO法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア
後援 船橋市、船橋在宅医療ひまわりネットワーク、千葉県在宅ネットワーク、NPO 法人医療・福祉ネットワーク千葉
千葉大学福祉環境交流センター
このフォーラムは正力厚生会の助成により行われます